裁別番号・報告回数		報告日	第一報入手日	新医薬	品等の区分	機構処理欄
			2004.12.1	該	当なし	
一般的名称	解凍人赤血球濃厚液		Irish Blood Trai	nsfusion	公表国	
販売名(企業名)	解凍赤血球濃厚液「日赤」(日本赤十字社) 照射解凍赤血球濃厚液「日赤」(日本赤十字社)				アイルランド	

究報告の概要

アイルランド輸血サービス(IBTS)は 2004 年 10 月 31 日、輸血を介した vCJD 伝播のリスクを一層低減させるために供血に関する追加の措置を実施することを発表した。IBTS は状況の監視を続行するとともに、2004 年 11 月 1 日より、以下に該当するドナーからは供血を受け付けないことを決定した。1)1980 年 1 月 1 日から 1996 年 12 月 31 日までに英国に合計で 1 年以上滞在した者、2)1980 年 1 月 1 日以降に英国で手術を受けた者。手術とは神経外科手術、眼科手術、虫垂切除術、扁桃切除術、アデノイド摘出術、脾摘出術、リンパ節生検をいう。輸血を介した vCJD 感染の可能性例が初めて発生して以来、IBTS は以下の予防措置を講じている。1)1999 年 11 月から、血液製剤から白血球細胞の大部分を除去、2)2001 年 4 月から、1980 から 1996 年に英国に 5 年以上滞在した者を供血者から除外、3)アイルランド国外で輸血を受けたことのある者を供血者から除外、4)BSE 発生のない地域から血漿分画製剤を輸入、5)2001 年 1 月に、手術患者に使用する血液に関する適正使用情報を提供するために全医師に向けたガイダンスを発行、6)2004 年 5 月から、1980 年 1 月 1日以降にアイルランド国内で輸血を受けた者のうち、1980~1996 年に英国に 3 年以上滞在した者を供血者から除外。

報告企業の意見

アイルランド輸血サービス (IBTS) は 2004 年 10 月 31 日、 輸血を介した vCJD 伝播のリスクを一層低減させるために供 血に関する追加の措置を実施することを発表したとの報告で ある。

日本赤十字社は、問診時に vCJD の伝播防止のため過去の海外渡航歴(旅行及び居住)を質問し場所、時期、期間を確認しており、欧州 36 ヶ国に一定期間滞在歴を有するドナーを無期限に献血延期としている。今後も、CJD 等プリオン病に関する内外の新たな知見及び情報の収集に努める。

今後の対応

使用上の注意記載状況・その他参考事項等

解凍赤血球濃厚液「日赤」 照射解凍赤血球濃厚液「日 赤」

> 血液を介するウイルス、 細菌、原虫等の感染 vCJD 等の伝播のリスク



別紙3

医薬品 医薬部外品 研究報告 調査報告書 化粧品

識別番号・報告回数		報告日	第一報入手日	新医薬	品等の区分	機構処理欄
解》列首"节"和自隐女			2004.12.1	該	当なし	
一般的名称	人血清アルブミン		Irish Blood Tran	sfusion	公表国	
販売名(企業名)	赤十字アルブミン20(日本赤十字社) 赤十字アルブミン25(日本赤十字社)	一 研究報告の公表状況	Service, Press R 2004.10.31	eleases,	アイルランド	

研究報告の概要

アイルランド輸血サービス(IBTS)は 2004 年 10 月 31 日、輸血を介した vCJD 伝播のリスクを一層低減させるために供血に関する追加の措置を実施することを発表した。IBTS は状況の監視を続行するとともに、2004 年 11 月 1 日より、以下に該当するドナーからは供血を受け付けないことを決定した。1)1980 年 1 月 1 日から 1996 年 12 月 31 日までに英国に合計で 1 年以上滞在した者、2)1980 年 1 月 1 日以降に英国で手術を受けた者。手術とは神経外科手術、眼科手術、虫垂切除術、扁桃切除術、アデノイド摘出術、脾摘出術、リンパ節生検をいう。輸血を介した vCJD 感染の可能性例が初めて発生して以来、IBTS は以下の予防措置を講じている。1)1999 年 11 月から、血液製剤から白血球細胞の大部分を除去、2)2001 年 4 月から、1980 から 1996 年に英国に 5 年以上滞在した者を供血者から除外、3)アイルランド国外で輸血を受けたことのある者を供血者から除外、4)BSE 発生のない地域から血漿分画製剤を輸入、5)2001 年 1 月に、手術患者に使用する血液に関する適正使用情報を提供するために全医師に向けたガイダンスを発行、6)2004 年 5 月から、1980 年 1 月 1日以降にアイルランド国内で輸血を受けた者のうち、1980~1996 年に英国に 3 年以上滞在した者を供血者から除外。

今後の対応

アイルランド輸血サービス (IBTS) は 2004 年 10 月 31 日、輸血を介した vCJD 伝播のリスクを一層低減させるために供血に関する追加の措置を実施することを発表したとの報告である。

報告企業の意見

これまでの疫学研究等では、ヒトにおいて、血漿分画製剤を介して vCJD が伝播するという証拠はない。また異常プリオンがアルブミン製剤の製造工程で効果的に除去されるとの報告もあるが、輸血により vCJD に感染する可能性が示唆されたことから、今後も情報の収集に努める。

尚、日本赤十字社は、欧州 36 ヶ国に一定期間滞在歴を有するドナーを無期限に献血延期としている。

使用上の注意記載状況・その他参考事項等

赤十字アルブミン20 赤十字アルブミン25 血液を原料とすることに 由来する感染症伝播等

A Homepage

Contact Us

ு Sitemap

Becoming a Danci Being a Donor

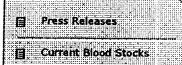
Irish Blood Transfusion Service

Where to Donate Our Services About Us

About Hood

<u> About Us » Newsroom » Press Releases</u>

About Us



Donor Infoline



1850 791 137

For information about donating, please feel free to call our Donor Infoline

Call: 1850 731 137

Contact Us

National Blood Centre es' Street Dublin 6

t: 00 353 1 - 4322800 f: 00 353 1 - 4322930

e: <u>info@ibts.ie</u>

Press Releases - 2004

Sun, 31 Oct 2004

IBTS introduces additional restrictions to reduce vCJD risk

IBTS introduces additional restrictions to reduce vCJD risk

The Irish Blood Transfusion Service today (Sunday) announced additional restrictions on blood donation to reduce further the risk of vCJD being transmitted by blood transfusion. The IBTS continues to monitor the situation and has decided that from tomorrow (Monday 1st November 2004) the IBTS will no longer accept blood donations from the following:

People who have spent one year or more in total in the UK between 1 January 1980 and 31 December 1996

People who have had certain operations in the UK on or after 1 January 1980. This includes neurosurgery, eye surgery, appendectomy, tonsillectomy, adenoidectomy, splenectomy and lymph node biopsy.

Since the possibility of transmission of vCJD by blood transfusion first emerged, the IBTS have taken a number of precautionary steps including:

From November 1999 the removal of most of the white cells from blood (white cells and plasma are considered by experts to be potential sources of infection).

From April 2001, people who had spent 5 years or more in the UK between 1980 and 1996 were excluded from donating blood.

The exclusion of people who had previously received blood transfusions outside Ireland.

The importation of plasma products from BSE free areas to further decrease the risk of transmission.

The issuing of guidance to all doctors in January 2001, setting out best practice for blood usage in surgical patients.

From May 2004, people who had spent 3 years or more in the UK between 1980 and 1996 were excluded from donating as were people who had received blood transfusions in the Republic of Ireland (other than autologous transfusions) on or after 1 January 1980.

Dr William Murphy, National Medical Director said: " we are introducing this additional restriction to further reduce the threat of transmission of vCJD through blood transfusion. This new restriction means that fewer people will be able to give blood and will result in the loss of about 4,000 donors. However, we will still need to collect 3,000 donations per week to ensure that we can supply hospitals with the blood necessary for patient care. So we need to find 4,000 new donors and we need existing donors to give blood regularly."

He urged anyone who had not donated before or who had not donated recently to become a blood donor, if they fulfil the acceptance criteria. "Without a commitment to blood donation from the community, modern healthcare just can't happen. It is not up to someone else to do it, it is up to you, and to everyone who can."

Chief Executive Andrew Kelly said: "we realise by introducing these measures we will lose some of our most loyal donors. We would like to thank them for the difference they have made to so many lives. We would ask that they encourage others to take their place and become committed regular donors."

ENDS

Note for Editors

- The Irish Blood Transfusion Service is responsible for collecting, processing, testing and issuing blood in Ireland.
- The IBTS needs to collect about 160,000 donations of blood every year, that is about 3,00 donations a week
- · Giving blood saves lives, yet only 5% of the eligible population give blood.
- · One in four people will need a transfusion at sometime in their lives
- Between 1-2% of the population need a blood transfusion every year



Thu, 16 Sep 2004

1 in 4 will need a blood transfusion - Westlife lends support as IBTS launches Blood for Life Week 19-25th September 2004

» Mon, 26 Jul 2004

IBTS extends temporary deferral for West Nile Virus to Algarve

Wed, 14 Jul 2004

IBTS launches 2003 Annual Report

» Mon, 03 May 2004

Irish Blood Transfusion Service to introduce new measures to reduce risk of vCID

» Fri, 12 Mar 2004

Statement from the Chairperson of the IBTS

Tue, 27 Jan 2004

Stillorgan Blood Donation Clinic officially opened by President of Ireland today, Tuesday

2003 2002 2001

a: Rational Blood Centre, James' Street, Dublin 8

t: 00 353 1 4322800

f: 00 353 1 4322930

e: info@ibts.ie

Disclaimer

Privacy

138

医薬部外品 研究報告 調査報告書 化粧品

阿凡力	川番号・報告回数			報告日	第一報入手日	新医薬品等の区分	機構処理欄	
					2004.12.1	該当なし		
	一般的名称	人血清アルブミン			ProMed. 20041124-0040	公表国		
販	·売名(企業名)	赤十字アルブミン20(日本 赤十字アルブミン25(日本	赤十字社)	研究報告の公表状況	2004.11.23 情報源: Expatica 事、11月23日	フランス		
	仏保健省は2	004年11月23日、2件目	となる変異型	型クロイツフェルトヤコ	ブ病(vCJD)患	者から供向された血液	使用上の注意記載状況・	
研	(製剤)の受血者	追跡調査を開始した。仏保						
	から 2002 年の	間に数回にわたり供血をし	ていた。仏仏	R健省は、このドナーの	供血血液が赤血	は間と 一点 100年十二日 10世代	その他参考事項等 赤十字アルブミン20	
书	血漿分画製剤と	が設用、皿小板設用、						
究報告の概要	らリスクや必要	血漿分画製剤として使用されていたために、特別な措置を講じており、赤血球製剤と血小板製剤の受血者は主治医からリスクや必要な予防措置に関して説明を受けることになると述べた。血漿分画製剤に関しては、感染伝播の危険性						
要	は立証されてお	らず、もし感染リスクがあ	由来する感染症伝播等					
	減しているはず	であるとしている。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0、 表但工住下りでよう	されな。百にわい	て布状されリスクが低		
								
		報告企業の意見			今後の対応			
仏		報告企業の意見 となる供血歴のある変異型	クロイツフ	これまでの疫学研究		おいて、血漿分画製剤		
	保健省は、2件目				等では、ヒトに	おいて、血漿分画製剤 はない。また異常プリ		
エル	保健省は、2件目	となる供血歴のある変異型 D) 患者を発見し、受血者		を介して vCJD が伝播	等では、ヒトに	はない。また異常プリ		
エル	保 健 省は、2 件目 トヤコブ病(vCJ	となる供血歴のある変異型 D) 患者を発見し、受血者		を介して vCJD が伝播 オンがアルブミン製剤	等では、ヒトに なっという証拠 の製造工程で効	はない。また異常プリ 果的に除去されるとの		
エル	保 健 省は、2 件目 トヤコブ病(vCJ	となる供血歴のある変異型 D) 患者を発見し、受血者		を介して vCJD が伝摘 オンがアルブミン製剤 報告もあるが、輸血に	等では、ヒトに するという証拠 の製造工程で効! より vCJD に感	はない。また異常プリ 果的に除去されるとの 染する可能性が示唆さ		
エル	保 健 省は、2 件目 トヤコブ病(vCJ	となる供血歴のある変異型 D) 患者を発見し、受血者		を介して vCJD が伝指 オンがアルブミン製剤 報告もあるが、輸血に れたことから、今後も	等では、ヒトに するという証拠 の製造工程で効! より vCJD に感! 情報の収集に努め	はない。また異常プリ 果的に除去されるとの 染する可能性が示唆さ	·	



